



学校だより 6月号

令和5年5月26日

かさま

No.505 横浜市立笠間小学校

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kasama/>

【学校教育目標】 かがやくひとみ さわやかえがお まごころいっぱい かさまの子

読書や運動のすすめ

副校長 谷田部 康代

子どもの読書への関心の高まりを受けて、2000年「子ども読書年」より4月23日から5月12日は「こどもの読書週間」となりました。みなさんは、今年のこの20日間にどのくらい本を読みましたか。

私が読んだ本は、今年度笠間小学校に新しくいらした学校司書の安里先生に選んでいただいた図書室の本『モーツァルトはおことわり』と『こんぴら狗(いぬ)』の2冊。学研教育総合研究所の調査「小学生白書」では、2022年9月、1ヶ月の読書量の平均は、2.8冊。学年別では1年生が最も多く、学年が上がるにつれて読書量が減少する傾向にあり、4～6年生の約3割は1ヶ月に1冊も本を読まないと回答しているようです。約30年前の調査では、小学生の1ヶ月の読書量は全学年平均9.1冊だったので、読書冊数が3分の1にまで減少したことになります。

小学生の1日のテレビ視聴時間は、この30年間で約半分～6割に減少していることから、テレビが読書離れの原因ではないようです。一方、自由に使える通信機器で、「ゲームをする。」や「動画の閲覧をする。」時間が増えているようです。インターネットやデジタル機器がある環境で生まれ育った今の小学生は、通信機器でゲームや動画観賞にはまり、読書やテレビには興味がないという子どもが多いのかもしれない。



梅雨入り前ではありますが、GW最終日あたりから週末という雨が続きました。そんな日は、親子で読書はいかがでしょうか。先日、図書ボランティアの方々が低学年の読み聞かせにいらした後、図書室で情報交換をされている場に伺いました。代表の方が、1年生の教室で読み聞かせた本を紹介しながら、子どもたちがどんな反応で聞いていたかを実演しながらお話されていて、楽しい空気感が伝わってきました。ぜひ、低学年のお子さんとは読み聞かせを通して絵本の世界観に大人も入り込むのをお勧めします。

また、風が爽やかな日には、外へ出て体を動かすのもよい季節です。学校では今、運動会に向けて、どの学年も一生懸命がんばっています。いよいよ明日の運動会本番では、4月よりもひとまわり成長した姿をお見せできることと思います。

本年度の運動会は、保護者の方々の人数を制限していません。昨年度よりかなりの混雑が予想されます。運動会用の名札には、児童の学年を事前に書いていただき、譲り合っの参観にご協力をお願いします。



<運動会での熱中症対策について>

当日はかなりの暑さが予想されます。笠間小学校では、GW明けから暑さ指数(WGBT)の測定をしています。熱中症は命に関わる危険がある事を踏まえ、こまめな水分補給を声掛けしています。

- ・運動会の日には予備用として大きな水筒にする、または2本目を準備するようにしてください。
- ・水筒の中身は普段の水、お茶に加えこの日はスポーツドリンクも可能とします。
- ・冷却タオルや冷却シートを使って体温を下げることも効果的です。

ご家庭でもきちんと睡眠をとるなど規則正しい生活を送り、体調を整えられるようにご協力をお願いします。